



まちの情報 札幌地区 * まちの瓦版

* 札幌 * 中沼 * 東雁来 * No. 9

2010年1月 発行 モエレまちづくり委員会・まちの情報委員会



楽しいことがいっぱい！冬の札幌地区 イルミネーション・雪まつり・スノーフェスティバル



イグルーと
スノーキャンドル

2009年

モエレ公園通り(三角点通り)は・・・

この道は、夏は「花の道」、冬は「光の道」となります。LED(発光ダイオード)を使って環境にも配慮したイルミネーションは8年目の今回18本になりました。同じく、8年目となったスノーキャンドルのイベント。札幌地区では、札幌東公園・札幌たまねぎ公園とあわせて、モエレ沼公園で灯りがとまりました。



イルミネーション



さっぽろ雪まつり「竹スキー」体験

～今までの様子から～



第61回さっぽろ雪まつり「竹スキー体験コーナー」 ～札幌地区が担当しています～ in つどーむ会場

2010年 2月5日(金)～11日(木)

- 竹スキー滑り体験は、小学生まで！！
- 竹スキー製作体験は、2/6(土) 7(日)にやっています！

平成18年に、雪まつり会場が真駒内から「サッポロさとらんど」に移り、始まったこの竹スキー体験コーナーも、今年で5回目です。今年は、輪投げ大会やバンブーダンスのコーナーも！！子どもも大人も、是非、遊びに来てくださいね！！

モエレ公園通りスノーフェスティバル

in モエレ沼公園

2010年 2月20日(土)10:00～ イグルー作り体験
21日(日)10:00～ 子ども雪合戦大会
温かい豚汁・甘酒・お汁粉もあるよ！

同じく平成18年から会場を「モエレ沼公園」に移した「スノーフェスティバル」。1日目は、イヌイットのお家「イグルー作り体験」ができます。2日目は、白熱した小学生の「雪合戦大会」！！当日、参加申し込みもOKです！

タッピー冬まつり in 札幌小学校

2010年1月8日(金)10時～

子育て中の親子と地域の交流を目的に「タッピー冬まつり」が開催されました。

当日は、親子や学生・地域の人たち200人が参加。「そりあそび」や、たこ揚げ、ストラックアウトなどのコーナーが設けられたほか、ボール拾いやカルタとりなどのゲームが行われ、子どもたちは時間の経つのも忘れ、雪遊びを満喫しました。



主催：東区保健福祉部健康・子ども課

モエレ公園通りスノーフェスティバル

～昨年の様子から～



この訓練は、東区など防災関係機関と地域の自主防災組織との相互協力体制の充実を図り、区民の防災意識や災害対応力を高めるため、毎年東区が主催し、各連合町内会が持ち回りで参加しているものです。札苗地区では、平成11年に札苗中央公園で実施して以来10年ぶりとなりました。

会場には、札苗地区自治連絡協議会 約400人をはじめ、札苗緑小学校・かりき保育園の子どもたち、東消防署・消防団、東区災害防止協力会などの関係機関あわせて700人程が参加しました。

「台風の接近に伴う大雨」と「最大震度7の直下型地震」のダブルパンチという未曾有の災害を想定し、訓練がスタートしました。煙の充満したトンネル内を歩く煙道通過訓練や、バケツリレー・消火器による初期消火訓練のほか、被災者の救護・救出訓練、応急手当やAED(自動体外式除細動器)の取り扱い、避難所の開設、給水・給食訓練などを次々に体験しました。また、重石代わりに、水の入ったビニール袋をダンボール箱に入れて積み上げ、家の中への浸水を防ぐ水防工法訓練も今回初めて行われました。

様々な訓練に参加・体験した人たちは「こういうやり方もあるんだね」「自分の家にあるもので代用できそう」と、自分たちでできる初期対応や、互いに助け合う気持ちの大切さをあらためて実感していました。



今日からあなたも…

札苗地区地域ボランティア入門研修会 in 札苗会館 2009.11.27

この研修会は、地域でのボランティア活動に取り組むきっかけづくりと、基本的な知識や技術を分かりやすく学べるようにと、札苗地区福祉のまち推進センターと東区社会福祉協議会が、今年初めて開催したものです。

会場には、ボランティア活動に関心のある地域の方約30人が参加しました。

最初に、「NPO法人たすけあいワーカーズぽっけ」の講師の方の「地域福祉活動のすすめ」というテーマ講義を聞きました。参加した人たちは、地域で助けを必要としている方への気づき方や接し方について、具体的なシミュレーションを交えた話を熱心に聴いていました。

続いて、東区介護予防センター東苗穂と第2地域包括支援センターの職員から、車いすの使い方や注意事項などを教わった後、2人1組で、実際に車いすを押ししたり、乗ったりする体験に交互にチャレンジ。会館のスロープや段差のある所を通り、押す側と乗る側双方の信頼関係の大切さを実感していました。

参加した人は「いつかは自分もお世話になる立場。できることから始めたい」と意欲をのぞかせていました。

